

最近の管内経済概況

(2025年7月の経済指標を中心として)

～ 緩やかに持ち直している ～

最近の動きをみると、

- 生産活動は、持ち直しの兆しがみられる。
- 個人消費は、一部に足踏みがみられるものの、緩やかに改善している。
- 観光は、改善が続いている。
- 公共工事は、増加した。
- 住宅建設は、弱まっている。
- 民間設備投資は、増加している。
- 雇用動向は、弱含んでいる。
- 企業倒産は、件数、負債総額とも減少した。

全体として、管内経済は、緩やかに持ち直している。

なお、先行きについては、国際経済の動向等を十分注視する必要がある。

※下線部は、前月から判断を変更した部分。

2025年9月19日

照会先 : 経済産業省 北海道経済産業局
総務企画部 企画調査課

T E L : 011-709-2311 内線 2525

E-mail : bz1-hokkaido-kikakuchosa@meti.go.jp

管内経済概況判断の推移

(2025年9月現在)

発 表 月	2025年4月	5月	6月	7月	8月	9月	前月との判断比較
総 括 判 断	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	
生 産 活 動	持ち直しの兆しがみられる	持ち直しの兆しがみられる	横ばい傾向 (↘)	横ばい傾向	持ち直しの兆しがみられる (↗)	持ち直しの兆しがみられる	
個 人 消 費	一部に足踏みがみられるものの、緩やかに改善している	一部に足踏みがみられるものの、緩やかに改善している	一部に足踏みがみられるものの、緩やかに改善している	一部に足踏みがみられるものの、緩やかに改善している	一部に足踏みがみられるものの、緩やかに改善している	一部に足踏みがみられるものの、緩やかに改善している	
観 光	改善が続いている	改善が続いている	改善が続いている	改善が続いている	改善が続いている	改善が続いている	
公 共 工 事	減少した (↘)	減少した	増加した (↗)	増加した	減少した (↘)	増加した (↗)	
住 宅 建 設	持ち直しの兆しがみられる	持ち直しの兆しがみられる	持ち直しの兆しがみられる	弱まっている (↘)	弱まっている	弱まっている	
民 間 設 備 投 資	増加している	増加している	減少している (↘)	増加している (↗)	増加している	増加している	
雇 用 動 向	弱含んでいる	弱含んでいる	弱含んでいる	弱含んでいる	弱含んでいる	弱含んでいる	
企 業 倒 産	件数、負債総額とも増加した	件数、負債総額とも減少した	件数、負債総額とも増加した	件数、負債総額とも減少した	件数は減少、負債総額は増加した	件数、負債総額とも減少した	

※下線部は、前月から判断を変更した部分。 上方修正 据え置き 下方修正

生産活動 ～ 持ち直しの兆しがみられる ～

7月の鉱工業生産は、前月比▲2.8%と4か月ぶりに低下した。前年同月比は+4.1%と2か月連続で上昇した。低下業種は、鉄鋼・非鉄金属工業など9業種となった。上昇業種は、一般機械工業など4業種となった。

<7月>

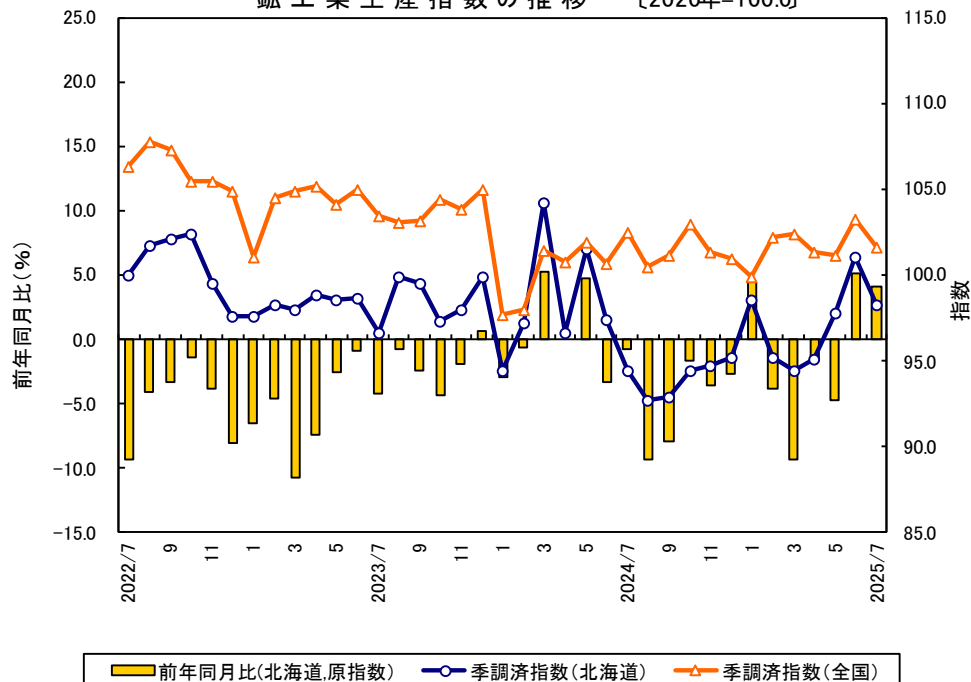
季節調整済指数

北海道（速報） 98.3（前月比▲ 2.8%）

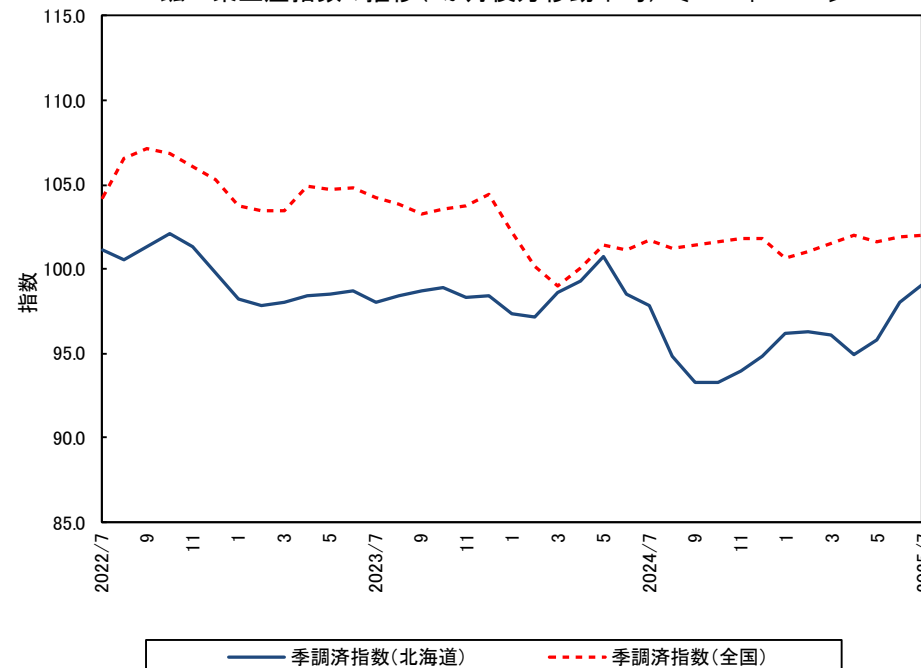
全 国（速報） 101.6（前月比▲ 1.6%）

	業 種	前月比 (%)	前年同 月比(%)	主な品目
低下 9業種	鉄鋼・非鉄金属工業	▲ 8.9	▲ 0.6	鋼材
	化学・石油石炭製品工業	▲ 7.3	+ 49.9	化学・石油石炭製品
	金属製品工業	▲ 5.2	+ 7.1	鉄骨
上昇 4業種	一般機械工業	+ 34.9	+ 46.4	一般機械

鉱工業生産指数の推移 [2020年=100.0]



鉱工業生産指数の推移(3か月後方移動平均) [2020年=100.0]



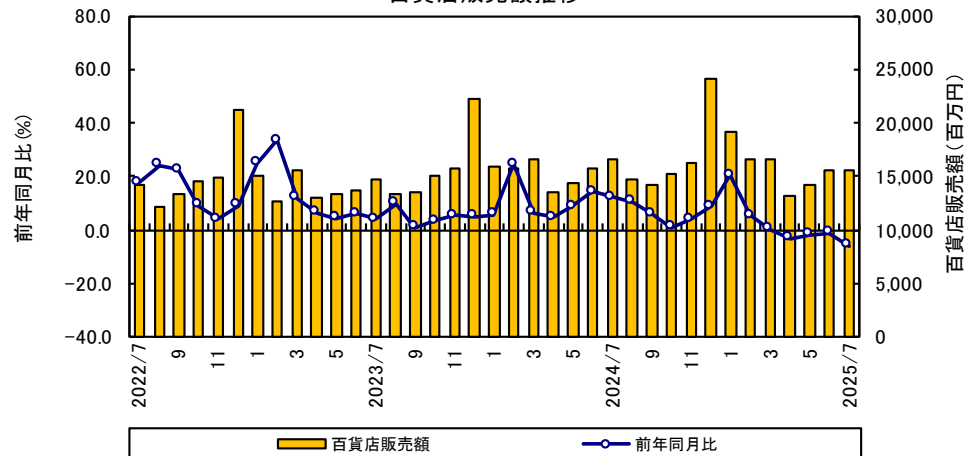
(資料：経済産業省、北海道経済産業局)

個人消費 ～ 一部に足踏みがみられるものの、緩やかに改善している ～

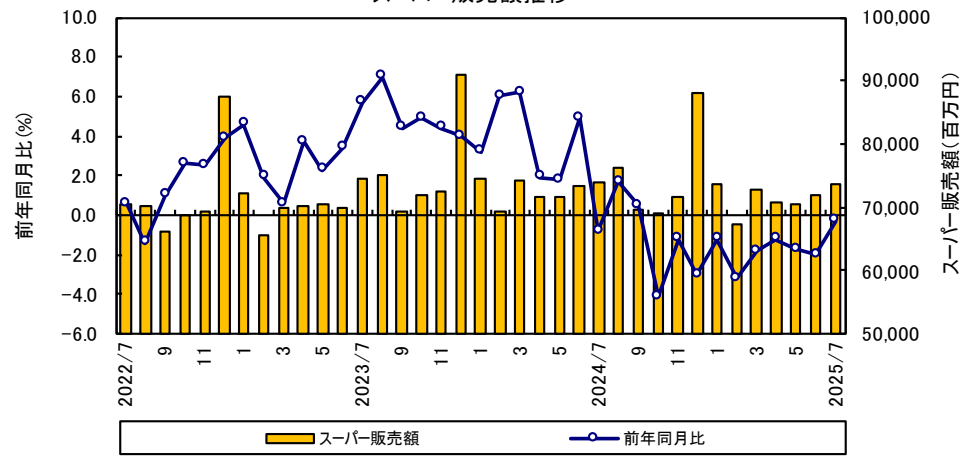
7月の個人消費は、百貨店、スーパー、新車販売が前年を下回ったものの、他の4業態は前年を上回った。

- ・百貨店は、高級ブランドの商品の売上げが減少し、前年同月比▲5.9%と4か月連続で前年を下回った。
- ・スーパーは、買上点数の減少や低価格帯の商品への移行がみられ、同▲0.3%と10か月連続で前年を下回った。
- ・コンビニエンスストアは、同+4.0%と10か月連続で前年を上回った。

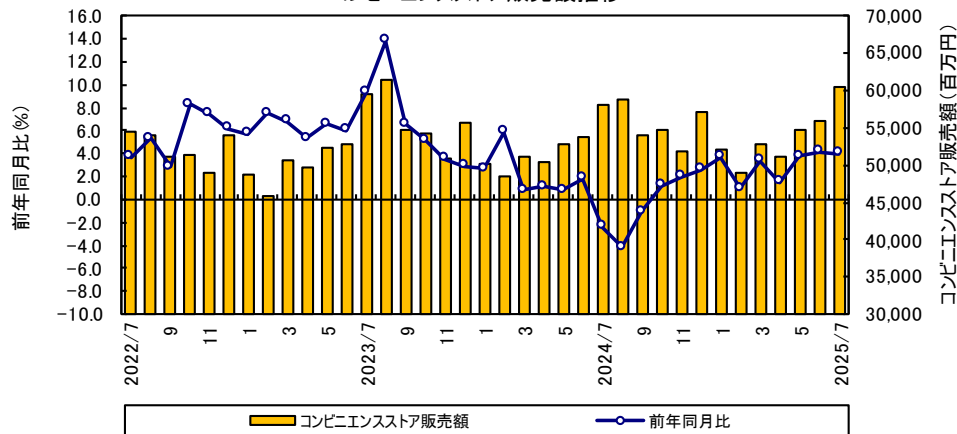
百貨店販売額推移



スーパー販売額推移



コンビニエンスストア販売額推移

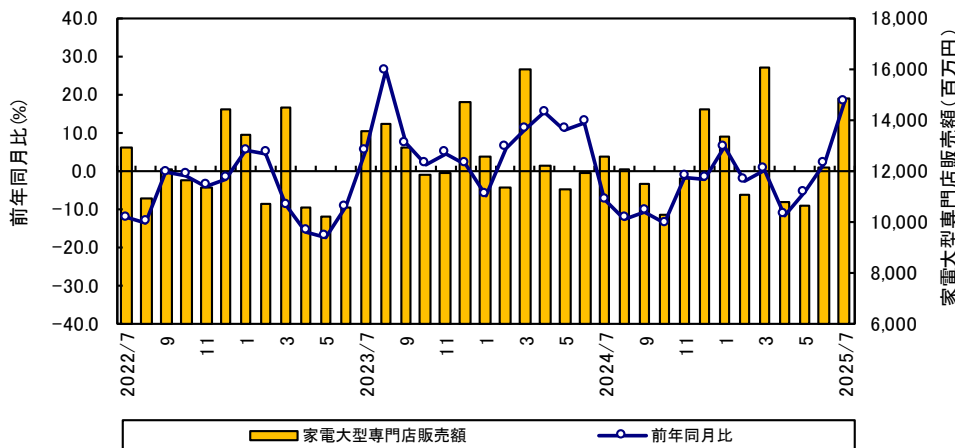


【ヒアリング内容】

- ・売上げが伸長した前年の反動などからインバウンド客による高級ブランドの商品の売上げが減少し、前年を下回った。また、気温の高い日には国内客の客数が減少したことから国内客の売上げも前年を下回った。(百貨店)
- ・節約志向による買上点数の減少や低価格帯の商品への移行が引き続きみられたほか、気温の高い日が続いたことから客数が減少した。一方で飲料や冷たい麺類、アイスなどの売上げは好調だった。(スーパー)
- ・気温の高い日が続いたことから飲料や冷たい麺類、アイスなどが好調で、前年を上回った。一方で、節約志向による買上点数の減少が引き続きみられた。(コンビニエンスストア)

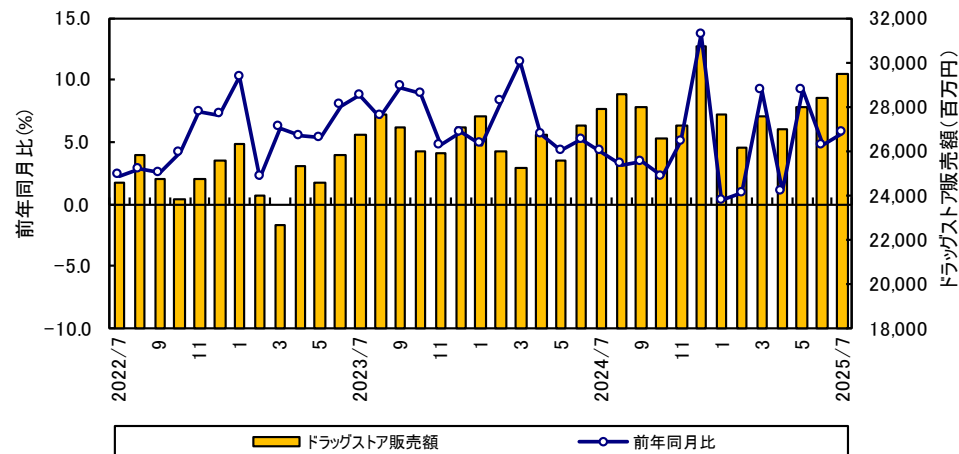
- ・家電大型専門店は、同+18.1%と2か月連続で前年を上回った。ドラッグストアは、同+5.7%と37か月連続で前年を上回った。ホームセンターは、同+2.5%と3か月連続で前年を上回った。
- ・新車販売は、同▲6.3%と2か月ぶりに前年を下回った。

家電大型専門店販売額推移



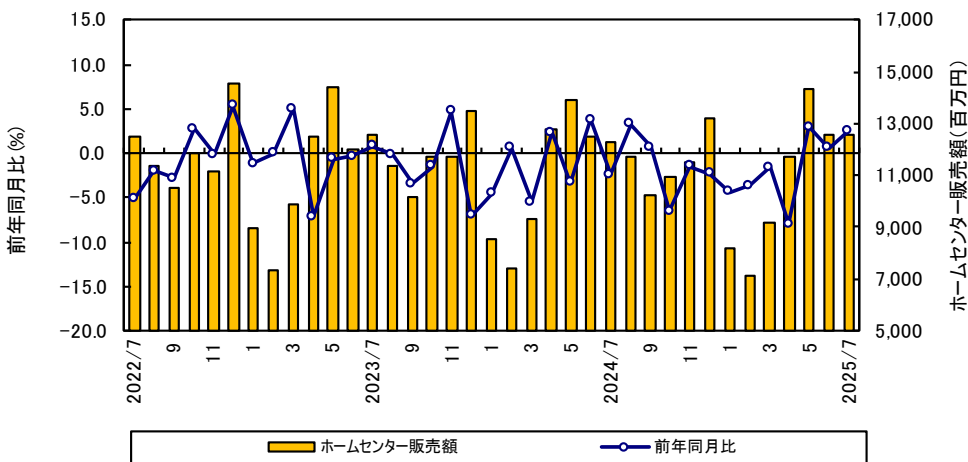
(資料：北海道経済産業局)

ドラッグストア販売額推移



(資料：北海道経済産業局)

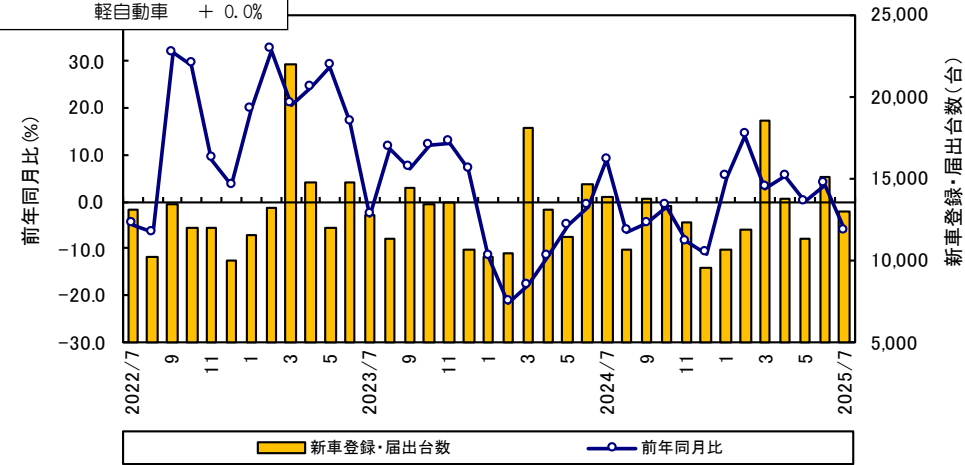
ホームセンター販売額推移



(資料：北海道経済産業局)

<7月> 普通乗用車 ▲12.8%
小型乗用車 ▲3.0%
軽自動車 + 0.0%

新車登録・届出台数推移



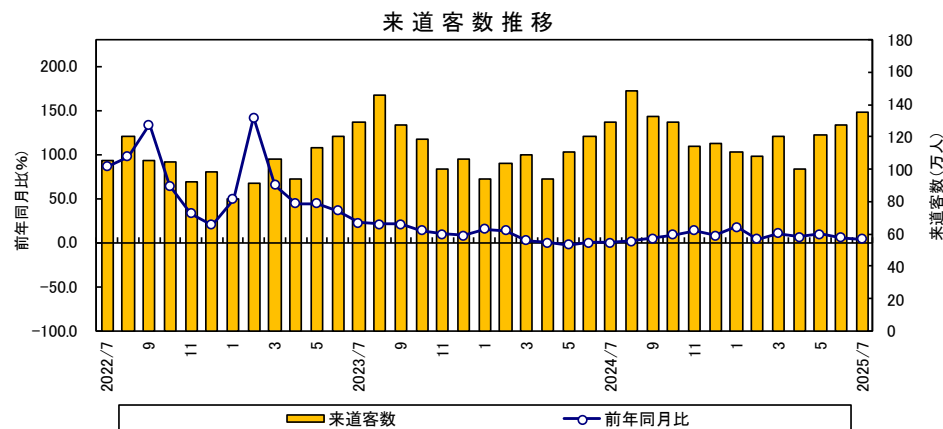
(資料：(一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)全国軽自動車協会連合会)

【ヒアリング内容】

- ・気温の高い日が続いたことからエアコンや扇風機などの夏物家電が好調だった。また、パソコンやスマートフォンも引き続き好調だった。(家電大型専門店)
- ・気温の高い日が続いたことからメイク崩れを防止するドライパウダーなどの商品が好調だった。また、アジアンコスメが引き続き好調だった。(ドラッグストア)
- ・気温の高い日が続いたことから扇風機やスポットクーラーなどの夏物家電が好調だった。一方で、外で使用する塗料などの売上げは良くなかった。(ホームセンター)

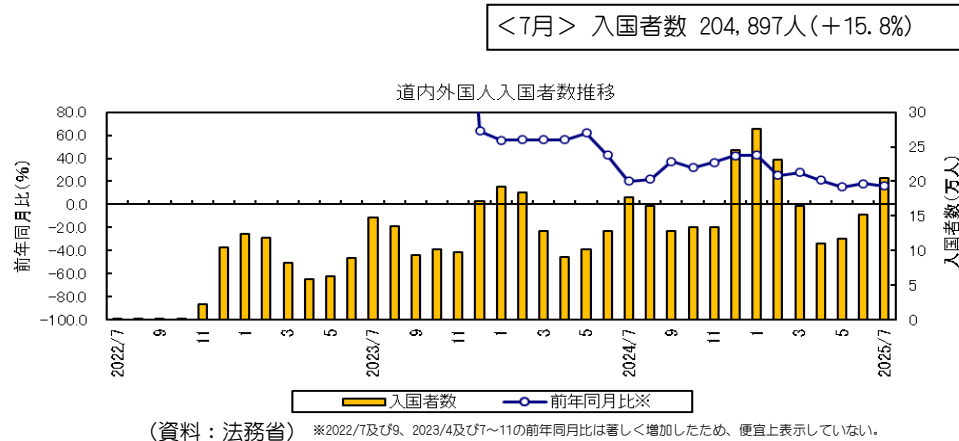
観光 ～ 改善が続いている ～

7月の来道客数は、前年同月比+4.2%と14か月連続で前年を上回った。また、道内外国人入国者数は、同+15.8%と37か月連続で前年を上回った。



<7月> 来道客数 1,349,137人(+4.2%)
 ※北海道外から航空機(国内線)、JR(北海道新幹線)、フェリーを利用して来道した旅客数。
 ※道内で入国手続きを行った外国人数は含まない。

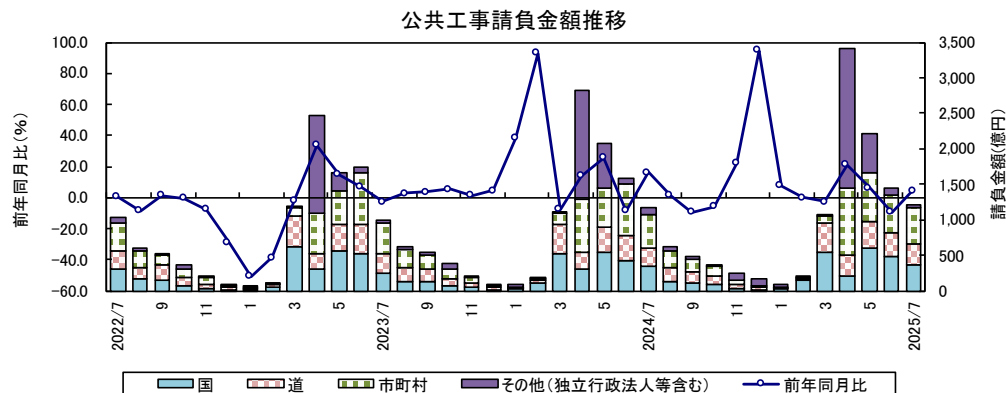
(資料：(公社)北海道観光機構)



・イベントの実施により入浴や食事の日帰り客が好調であった。(観光協会)

公共工事 ～ 増加した ～

7月の公共工事請負金額は、その他は前年を下回ったが、国、道、市町村は前年を上回り、前年同月比+4.6%と2か月ぶりに前年を上回った。



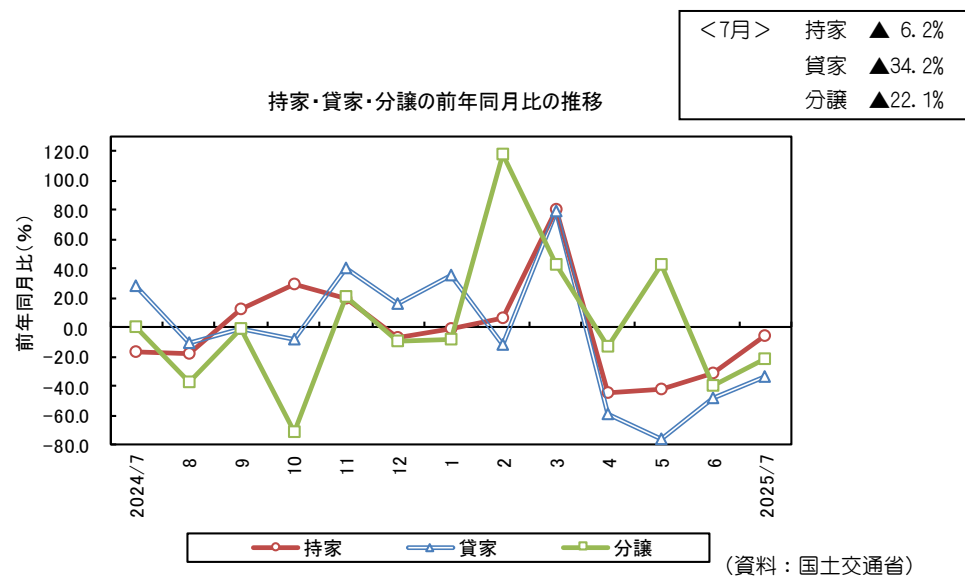
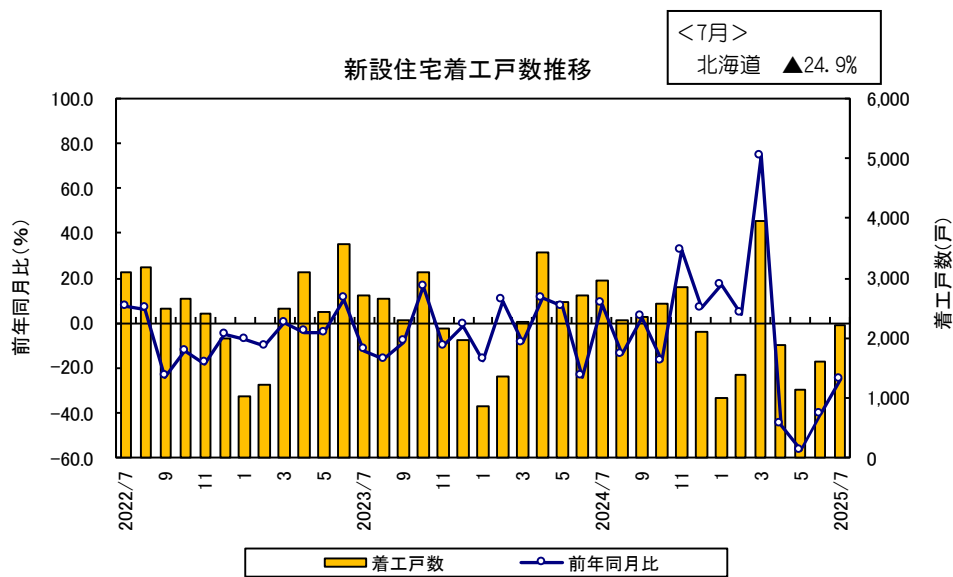
<7月>
 北海道 + 4.6%
 (内 訳)
 国 + 7.1% 道 + 17.2% 市町村 + 3.2% その他 ▲35.8%

※請負金額は国、道、市町村、独立行政法人等の合計額

(資料：北海道建設業信用保証(株)ほか2社)

住宅建設 ～ 弱まっている ～

7月の新設住宅着工戸数は、持家、貸家、分譲全てで前年を下回り、前年同月比▲24.9%と4か月連続で前年を下回った。



民間設備投資 ～ 増加している ～

2025年度の設備投資計画は、全体で前年度比+8.9%と4年連続で前年度を上回った。

日銀短観の設備投資動向

2025年7月1日発表

	2024年度	2025年度
北海道	+ 6.5%	+ 8.9%
製造業	+ 10.0%	+ 17.0%
非製造業	+ 4.9%	+ 5.0%
全国	+ 7.5%	+ 6.7%

※土地投資額を含み、ソフトウェア投資額、研究開発投資額を除く。
※北海道は、電気・ガスを除くベース。
(資料：日本銀行札幌支店)

法人企業景気予測調査(北海道・設備投資)

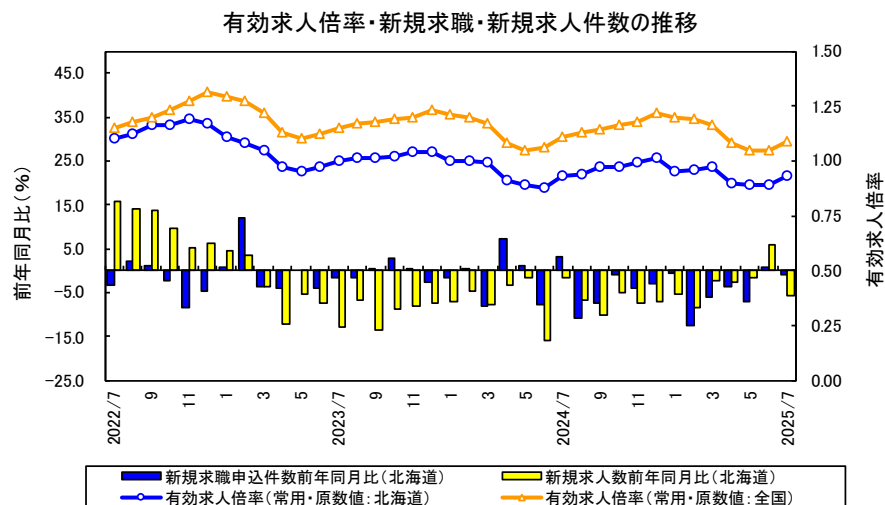
2025年6月12日発表

	2024年度	2025年度
全産業	+ 16.5%	+ 22.7%
製造業	+ 19.6%	+ 21.4%
非製造業	+ 15.2%	+ 23.3%

※数値は対前年比増減率。
※ソフトウェア投資額を含み、土地購入額を除く。
(資料：北海道財務局)

雇用動向 ～ 弱含んでいる ～

7月の有効求人倍率は、0.93倍と前年同月と同水準となった。



<7月>

北海道

有効求人倍率(常用・原数値) 0.93倍

新規求職人数(前年同月比) ▲ 5.6%

新規求職申込件数(前年同月比) ▲ 1.0%

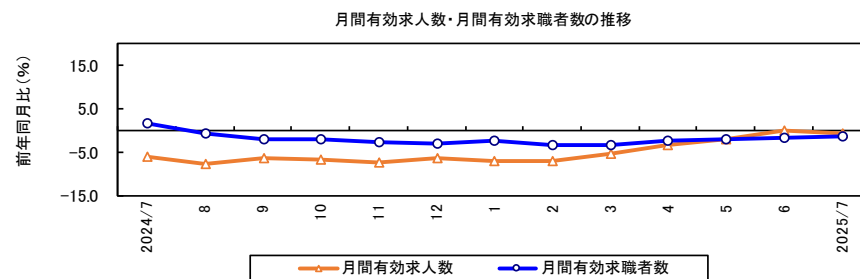
有効求人倍率(常用・原数値) 1.09倍

全国

<7月>

月間有効求職人数(前年同月比) ▲ 0.8%

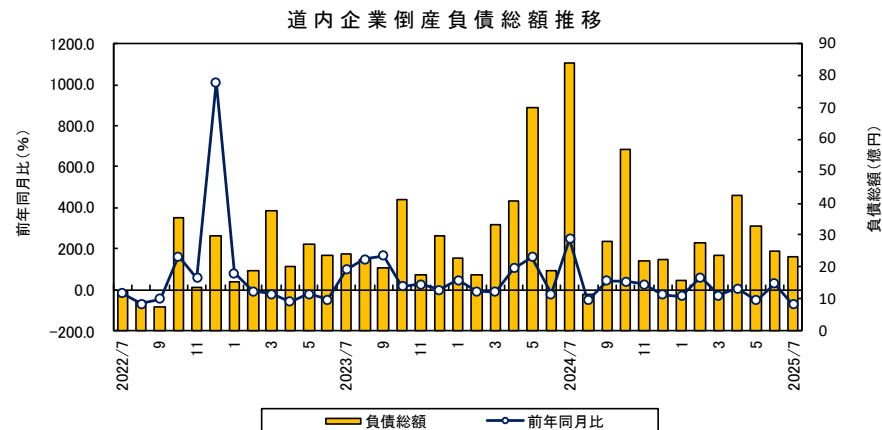
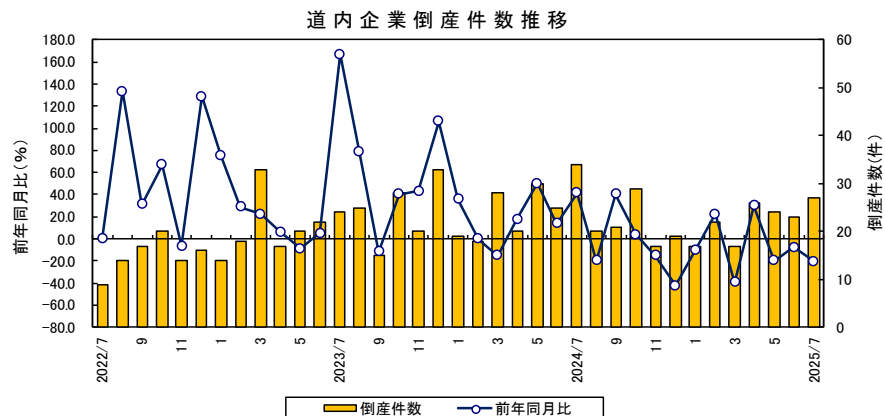
月間有効求職者数(前年同月比) ▲ 1.3%



(資料: 厚生労働省、北海道労働局)

企業倒産 ～ 件数、負債総額とも減少した ～

7月の倒産件数は27件で、前年同月比▲20.6% (7件減) と3か月連続で前年を下回った。また、負債総額は23.1億円で、同▲72.6%と2か月ぶりに前年を下回った。



(資料: (株)東京商工リサーチ)